

## 小規模の良さを生かした 教育推進を

6月議会の一般質問が12、13、16日に行われ、曾我部博隆市議は①学校統廃合問題、②生理用品を小中学校・公共施設トイレに置く問題、③国府宮駅周辺再整備及び土地区画整理事業の問題を取り上げました。主な市の回答を紹介します。

### 「まずは1地区で協議を進める」

※第1期再編対象地区は千代田・祖父江・平和の3地区

曾我部市議は昨年度教育委員会が策定した「学校施設整備基本計画」を取り上げ、今後どのように進めるのか質しました。

教育部長は「(第1期再編対象地区の中で) まずは1地区で(仮称)地域協議会を立ち上げることが目標に協議を進めたい」と答えました。

愛知県内で複式学級に移行するための条件

- 複数学年の児童数が14人以下の学級規模が続く場合
- 1年生を含む場合は7人以下の学級規模が続く場合

曾我部市議は「同計画」で複式学級になることを強調し、そうならないために学校統廃合が必要だと強調しているが、複式学級が問題という研究はあるのか、近い将来複式学級になる可能性はあるのか質しました。

教育部長は「複式学級が問題という学術的に統一された見解はない」「令和13年度までに複式学級が発生する可能性はある学校はない」と答えました。

### 子どもの声を計画に反映せよ

曾我部市議は「『同計画』に子どもの声が反映されていない。子どもの声を計画に反映するべきだ」と主張しました。

### 生理用品整備は世界の流れ

### 小中学校・公共施設トイレに整備を

教育部長は「再編対象校の児童同士の事前交流イベントの企画や、新しい学校で整備してほしい遊具、設備などの提案、通学路の安全対策」な

曾我部議員は、生理用品をトイレに置く問題は単なる貧困対策というだけでなく、すべての女性にかかわる人権の問題、「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」＝性と生殖に関する健康と権利にかかわると強調しました。

そして小中学校や公共施設のトイレに生理用品を置いているところはあるか、おいている場合問題が起きていることはあるかと質問しました。

教育部長は「生理用品を常時トイレに設置している市町が6ある」といいながら、

どに子どもの声を反映していかくが、『同計画』への子どもの声の反映は拒否しました。こども家庭庁は同庁発足前に出した『こどもの施策等への意見反映に関するQ&A』でこどもからの意見聴取、施策への反映を求めています。

小規模校には小規模校の良さがあります。学校統廃合でなく、小規模校の良さを生かした学校づくりを強く求めました。

「学校の実情に応じて判断する」というのみです。また市民福祉部長も「必要以上に持って帰られることやトイレに流すなどのイタズラが考えられる」と、トイレに設置しないことを正当化しました。

「恥ずかしい」「人の眼が気になる」ことがないように

三重県知事は「県庁トイレで試行的に生理用品配布を実行したい。仮に多くの人が

(生理用品を) 持って行くとしても、困っている人が持つて行くなは是とするべきではないか」と答えています。

トイレにトイレトペーパーが常備されているように、生理用品も常備するべきです。

国府宮駅周辺再整備・土地区画整理事業

### 開発優先の転換を

曾我部議員は「国府宮駅周辺再整備事業は、西口の駅前広場だけの整備に終わるのではないか。民間ビルを買収するとしており、市の負担が大きくなるのは必至だ。市の負担が少なくなる手法を検討するべきだ」と指摘しました。

下津の国府・下町の土地区画整理事業は反対の声が多く、断念したとの説明です。

他の地区も減歩がこれまでよりも大きくなり、同意をとることは難しくなり、特定の地域での開発優先のあり方を抜本的に改めることを求めました。

まちづくり部長は「高御堂南地区は組合設立に向け取り組んでいく」とする一方、「稲島東地区や正明寺地区はまちづくりへの機運を期待する」と述べるにとどまりました。